

解決したい
課題

誰もが足を止めたくなる駅前空間の創出

R7実証内容

名鉄刈谷駅改札前とカリココに笑顔検出サイネージを設置し、通行者が**笑顔を見せることで1回1円の寄付が発生する「スマイラル」**の体験型コンテンツの効果を検証する

1. 通行者の立ち止まり行動や体験参加の状況を定量的に記録し、スマイラルへの関心喚起効果を検証
2. 笑顔に応じたユニークな演出とインタラクティブ広告のビジネスモデルを検証

名鉄刈谷駅改札前



カリココ



取組成果

- 2025年12月1日～2026年2月28日までの実証期間中、**13万回以上の笑顔**を計測し、参加状況等（**広告KPI**）を定量的に記録

総顔検出数	総笑顔数	平均笑顔率
1,645,878件	131,624件	8.0%

- 笑顔数から発生させた**131,624円分の寄付**は、快適な駅前空間のための「日よけ」や「ベンチ」に活用
- 広告出現時に検出した人のうち、**平均50%以上**が注目していることがわかり、高い広告効果を確認

結果考察

- 体験型コンテンツは、従来のサイネージやポスターとは異なる形で**通行者の関心を引く効果が確認**された。
- 笑顔という参加型要素が、自然なコミュニケーションと空間の滞在価値を生み出す要因となる可能性が示唆**された。

実装に向けた課題

- リアル広告では取得が難しかった**広告KPIの取得可能性が確認**された一方で、期間中の**広告掲出・ビジネスモデルの検証には至らな**かったため、今後さらなる**広告媒体としての有効性検証が求め**られる。